

DISCLOSURE 2022.6

2022年度第1四半期(2022年4月1日～6月30日)における経営情報を開示します

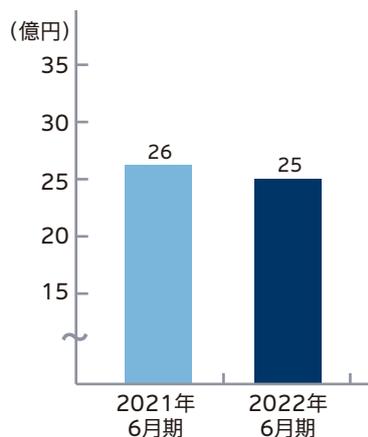
(注)この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数については、会計監査人による監査を受けていません。数値は原則単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとの合計の数値が一致しない場合があります。なお本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

西武信用金庫

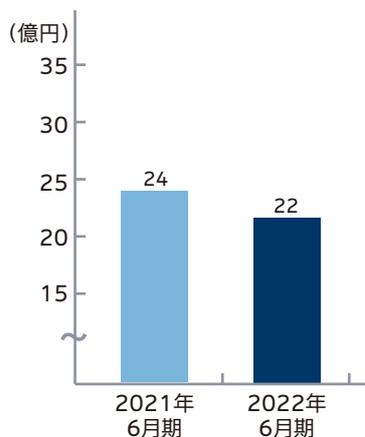
損益の状況

コア業務純益は25億円、経常利益は22億円、当期純利益は15億円を計上し、堅調に推移しました。

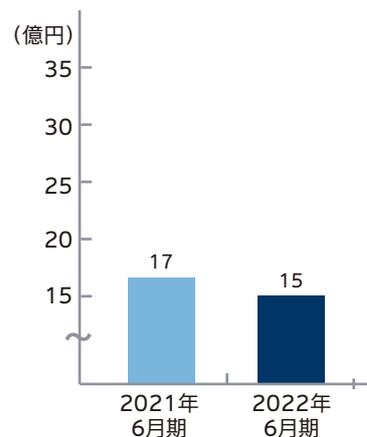
●コア業務純益 25億円



●経常利益 22億円



●当期純利益 15億円



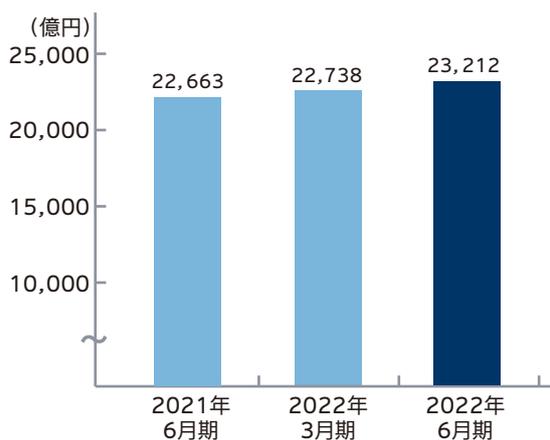
(単位:億円)

	2021年6月期	2022年6月期	前年同期比
コア業務純益	26	25	△1
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	26	25	△1
経常利益	24	22	△1
当期純利益	17	15	△1

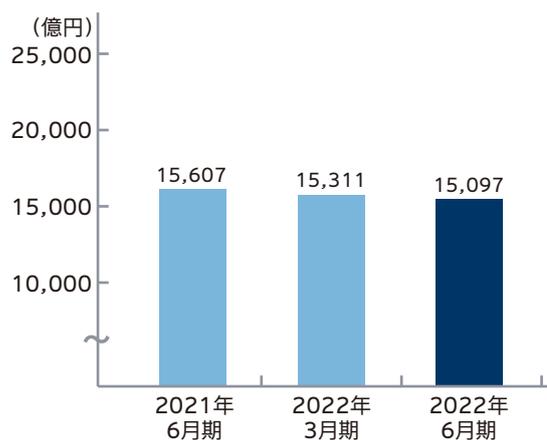
預金・貸出金の状況

預金残高は、前年同期比で548億円増加し、2兆3,212億円となりました。貸出金残高は、前年同期比で510億円減少し、1兆5,097億円となりました。

●預金残高 2兆3,212億円



●貸出金残高 1兆5,097億円



(単位:億円)

	2021年6月期	2022年3月期	2022年6月期	前年同期比
預金残高	22,663	22,738	23,212	548
貸出金残高	15,607	15,311	15,097	△510
預貸率	68.86%	67.33%	65.03%	△3.83ポイント

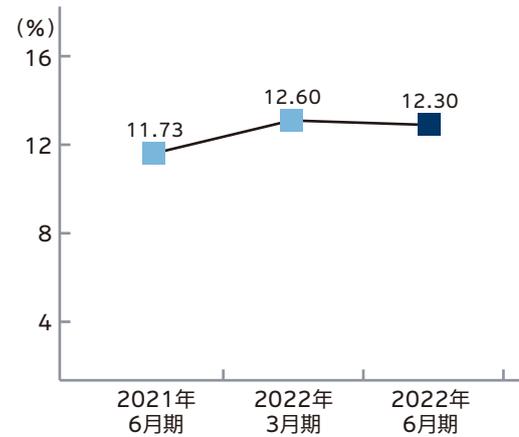
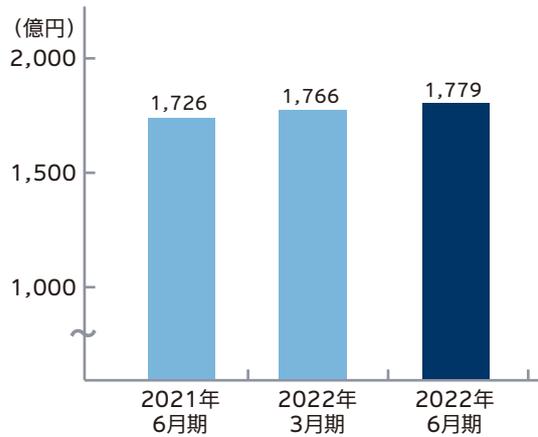
自己資本の状況

(国内基準)

自己資本の額は、利益等の積み上げにより前年同期比で53億円増加し1,779億円となりました。自己資本比率は、前年同期比で0.57ポイント上昇し12.30%と金融機関の健全性を示す国内基準4%を大きく上回っています。

●自己資本の額 1,779億円

●自己資本比率 12.30%



(単位:億円)

	2021年6月期	2022年3月期	2022年6月期	前年同期比
自己資本の額	1,726	1,766	1,779	53
自己資本比率	11.73%	12.60%	12.30%	0.57ポイント

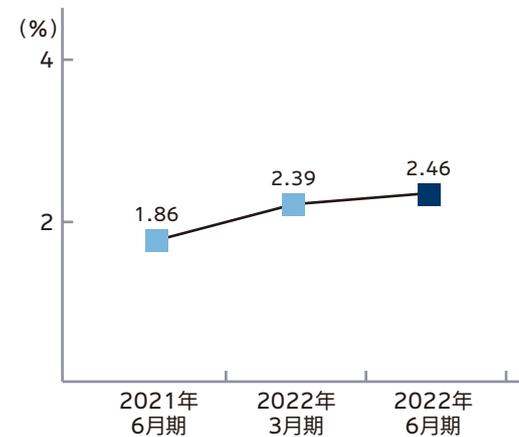
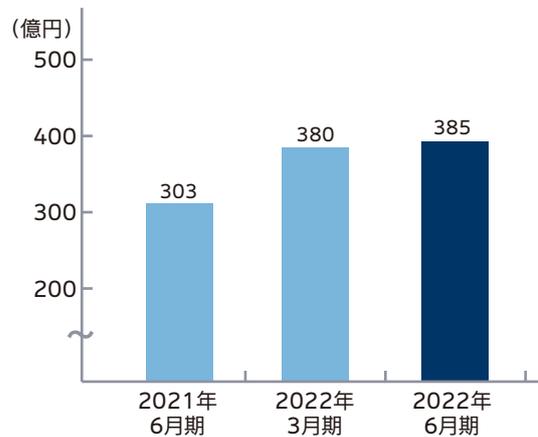
不良債権の状況

(金融再生法開示債権)

不良債権残高は385億円となりましたが、不良債権比率は2.46%と低水準を保っています。

●不良債権額 385億円

●不良債権比率 2.46%



(単位:億円)

	2021年6月期	2022年3月期	2022年6月期	前年同期比
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	31	44	52	20
危険債権	256	326	316	59
要管理債権	15	9	16	1
不良債権合計	303	380	385	81
不良債権比率	1.86%	2.39%	2.46%	0.60ポイント

有価証券の評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期比で3億円減少しました。

(単位:億円)

	2021年6月期		2022年3月期		2022年6月期		前年同期比	
	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益
株式	42	11	79	20	75	19	32	8
債券	81	0	85	0	84	0	3	△0
その他	653	19	758	15	841	7	187	△11
合計	778	31	922	36	1,001	27	222	△3

(注) その他＝投資信託・優先出資・外国証券・投資事業有限責任組合契約等への出資・買入金銭債権